

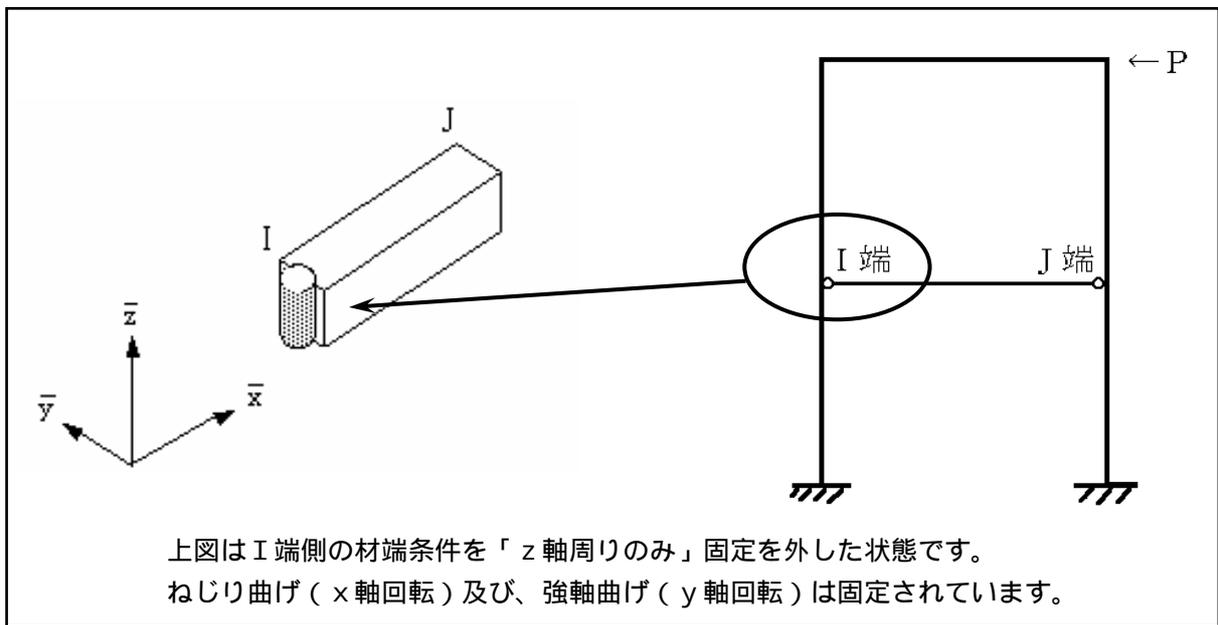


計算機能について

4. 剛、ピン、パネによる部材どうしの結合が可能（材端条件）

部材と部材の取り付け状態を「材端条件」といいます。部材の端部が曲げを伝えるか伝えないか（つまり剛接合にするか、ピン節接合にするか）は材端条件で設定します。

両端別々に、部材座標系の x y z 各軸廻りに（つまり曲げのみの3自由度）において固定にするかしないかで剛接合かピン接合かを指定出来ます。



下の画面は、設定方法を示しています。

構造計画研究所

入力ファイル

使用単位系
STAN系

作業内容
節点番号

Esc

選択確定

複写・削除
取り消し

マウス範囲指定

部材をダブルクリック

骨組部材情報修正

部材番号	I 端節点	J 端節点	部材長
7	5	7	5.000

材端条件

	x 軸	y 軸	z 軸
I 端	剛	剛	剛
J 端	剛	剛	剛

断面記号 剛域番号 指定方法

1	0	P1(角度)	0
作図 I 端	作図 J 端	P2	0
0	0	P3	0

CMQ編集 部材荷重編集

参照 部材追加 修正&終了

2 節点指示&追加 キャンセル